

# バストス週報

第八三六号  
昭和四十二年  
五月十三日  
発行

DIRETOR  
KOITI MORI  
REDATOR  
SHION ODA  
RUA PRES.  
VARGAS, 188  
C. POST. 112  
FONE. 40  
BASTOS  
C.P.  
ANUAL  
CR. \$  
4.000-

## 青嵐 17 遭難

自動車がつぶついたり、ひっくりかえったりするのをデザストレ(事故)というが船の沈没などはナウフラージオ、飛行機の時などは何というのだろう、やはりデザストレ又はアツシテネテというのだろう。自動車の事故はあいかわり、多いが飛行機となると、絶無ではないが、かよほど少ない。日本では今年に入ってから三回飛行機事故があり、飛行機に乗り手が激減し会社側をあわてさせているが、無理もない話である。汽車や自動車の方が安全だからムリに飛行機にのらなくてよいからである。

ソ連の打上げたロケットは月に軟着したと報じられ科学の勝利が叫ばれているのに、北海道札幌発の「雪まつり」見物の帰途一三三人をのせて全日空の277型機が羽田へ着陸の寸前に羽田沖へ墜落した。この事件は、早くブラジルの新聞にも報せられ、多くの人の胸を締めつけた。最近この事件をとり上げて何故事故を起したのかをあれこれと推理した雑誌をよんで見ても、はっきりした原因は判らぬといっているが、機の性能を過信したパイロットの油断からではあるまいかと思ふ。外、考えようがない。

遭難したボーイングジェット機は北米製でこれまで着陸寸前に故障を起して地上につっこんだ事が北米内に起って居り全日空で起った惨事を加えて三回目だといふから機長のものにどこかネグレクトがあるのではないかとこの機に乗りこんだ。二、三月四日七時、二機の間に南方から二機、北方から一機、羽田に入港することになって居り、南方から日航コンペイア880型機、カナタ航、ジェット機は太平洋より左折、千葉県木更津から一機に羽田へすべり込んでいる。三機の内一番早く着陸する筈の遭難機は夕夕型は北方より南下し東京VOR(無線標識灯)を通過後、肉眼頼りの有視界飛行にうつることとなり、千葉市の上空から羽田の管制塔にターミナル室に報告して

いる。気象条件がよく、満月同様の月明で視界二のキロと良好である。周辺に雲もない。

○ いよいよ、ヤ、こさん、パパにすがったな。  
△ チュー、嵐が拒絶するだろうて、パパの云うことぐうい、こわくないよ。  
○ 今さらひっみがかつかんね、名譽ある和睦なんそのんさなこと云っていいれねエ。  
△ まった待った。  
○ 一は、い、のんで、かうた。  
△ うさみの、鯉けうまい。  
○ 戦争より、このこと、このこと。



### Hotel "Ussami"

ホテル

うさみ

June 24

### Sapataria Bastos



くつも かばんも シンタも  
革製品一切  
確実な店として知られた  
早川靴店  
Tel. 55

く、二千米の上空で風も、その程度で、いわゆる飛行日和であつた。こ、う、い、う、時、は、有視界飛行は規則で許されている。従ってパイロットの措置はまちがいでない。その時までに管制塔のレーダーは72型機を追尾したのだが、有視界飛行管制所にスイッチが切りかえられた。あ、は、ラ、シ、オ、と、声、の、問、答、だ、け、で、あ、る、五、十、九、時、管、制、所、の、係、り、官、交、代、バ、ト、ン、を、受、け、つ、い、た、人、は、正、幹、の、大、須、賀、技、官、で、あ、

「た、千葉上空三千米からワタシ型機は着陸指示を求めしと無線  
大須賀技官は「C滑走路へ」と答えた  
恰と二時間、日航のコンペイア880は木更津上空一千米の上空から着陸態勢に入ったところである。管制塔では「一にワタシをC滑走路におろし、そのあと880を同じC滑走路に着陸させる予定だった。」二分たつと大須賀技官の目には880の航行灯がチクチクと見えはじめた。たぶんワタシは千葉沖と通過し、東京湾上で最終着陸態勢に移ろうとしていたところだ。大須賀さんは念のため「日航機が見えるか」といふと、大須賀27の答は「見えない」という。大須賀技官は両機の接近を憂い、急遽880にA滑走路へ降りる様変更を指令した。又木更津上空に待機しているカナタ航空機もA滑走路へ着陸するよう指令した。C滑走路は727のためにあけておいたのである。  
「このように周到な手配ができる中で727を下げはし、ターにのらないクラガリ行動をつづけているのである。わね、わね、何れも何れ意見を出せばさむ余地はないが、727が計器飛行通りにし、ターにのりながら羽田に近づいて居たとした。どうであらう。羽田を目のまえにしてみよ、みよ、みよ、と海上につっこむ。わね、わね、それでも遭難したのなら、神様に見放されたのだらう。海面上で右折する時高度をさげ過ぎて浮力を失い、あわてて高度を再調節せんとした時のムリが原因しているように思われ、ならない。科学的に見ても、そんな馬鹿な推理がと一喝されるかも知れないが、わね、わね、時間と費用をおしんで、道路をたことには遭難の因があると思つても、さしつかえあるまい。航空路という規準がある以上、レターと一という指導によって運命をまかされて、いる以上、夜間飛行となつたら、あくまで計器飛行に終始すべきが真のパイロット精神でなければならぬ。」

遭難後その原因を色々調査している。さうである。海底からバラバラになつた機体の部分を集めて組立てれば、どこに墜落の原因があつたかが判明すると云ふことだが、前後の証言などで、浮力を失つてあわてて、航空灯着陸燈もつづき機の上昇のみに全力をつくしたが、低空であつたため直りができず、そのまゝ機首を海中につっこんでしまつた。というふうな観測が行われている。不可能力の遭難であつたかどうかは、はっきりしな。飛行航空術というものは、まだ絶対安全とは云えないものなのであろうか。

### Industria Avicola de G. Abe

集卵車は  
紙皿を使い  
ますから、こ  
われず、数も  
よく判ります



給桑車は一度つかわれま  
すと能率的なので、とて  
められませんか

集卵車と  
給桑車と  
便利で能率的、卵は一回千個  
位なら、子供さんで集に運べます  
狭い道でもかるく通行します

製造元  
阿部五郎  
電話廿八

### 政府と社長

「大体今の政府のやり方はだね」などと  
誠に勇ましいと思つたら日本の話だつた  
「ところが君の会社近頃どうなんね」  
「相かわらね、仕様ないよ」とさつは  
り熱意がない  
「さうさ、政府の内政をつき外交を  
論ずるもいさ、しかし自分の会社ど  
うし、向上さすか、さしあつて問題に  
ないかね」

「もつとも会社を憂れる社員もいない  
ない。パイルなごときでよくやつている  
「うちの社長ときたら、仕事よりゴルフの  
方へ熱を入れてるんでね、あれいやだめだ  
「もつとも社長教育をしないで、  
では直接社長教育申出ればよいのに  
「パイルで気揚げたつてきいてるのにはド  
「フネズミぐういのもの、  
「二人なのが会社へ行くよ、おや社長お  
「早いぞ、おなれから昼休みにはラーム  
「のゲッソを出して  
「大体ジョンソンとしてもやりすゑるよ  
「などと力みかえつていふ  
「政府を攻撃したり社長を非難したりは  
「するが、いさとなると何にも云えんのだ  
「な、いやお互いに云えないよ、君なら誠  
「意をつくしていうだろ、いや、いや、いや  
「いられない。」

世界的  
経済鶏



B 300 を

飼育してガンニアして下さい

バブコック社独特な方法で採卵鶏をテストし、暑さにも、多  
湿にも、平飼、ス、コ飼、ケージ養鶏等の飼育に合格した  
もの及び産卵絶大のもののみを現物合格した上で市販する  
するからです。

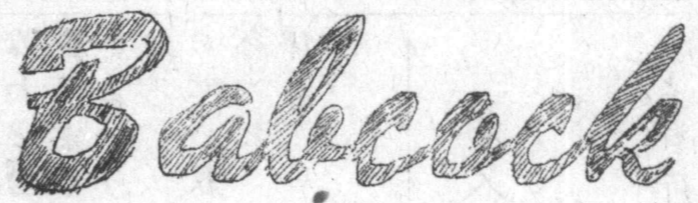
- 飼いやすい鶏
- 丈夫な鶏
- 多産する鶏
- エンゼル口ミツテ
- 病の出ない鶏

御申上は 伯国一手販売の

# 産業組合中央会へ

聖市ルアゲアルファンテカ 四八七

C P 2 9 8 6  
F O N E 3 3 7 8 2 0



## 訪日見聞録

### 紀南泉都巡り 4

#### 潮岬燈台 小沢 勇

十五分毎に出ると云う潮岬行きバスは超満員のためタクシ-を拾う。串本から一里半アスファルト道路を突き進むと本州最南端の潮岬である。南雲荘ホテルに入る。沖に数隻の大船去来するを見る。ホテルは海岸の絶壁上にあり、眼下かに白雲の燈台と対す。昼食後観光タワーに行く。タワー近くの道の両側に土産物店がある。右側は百五十米至珊瑚はかりの売店で、色とりどり形とりどりの美しいサンゴの置物がずらりと並び、美し相場は今日まで見た中で格安で白沢や串本で買った事を後悔しながら一個だけ買。タワーは高さ三十五米、白雲内筒状の八階にしてエレベーターで頂上に達し雄大な景観に嘆息を連発し、降下の時は徒歩で階段を下りつつ各階の展示場、捕鯨館、売店、食堂を見る。捕鯨館には捕鯨の参考品や写真等あまたある中に、長と四米もある鯨の背骨には驚いた。又民謡串木節の被篋場を一寸のちいてタワー前の広場に出た。すばらしい大芝生の広場

で多勢の観光客が弁当を開いていた。広場の一角に御製を彫った大石碑があり、御製 紀の国の志ほのみさきにたちよりに沖にたなびく雲を見るかな。陸軍大将有馬良橘謹書とあった。広場の終る所は急峻な絶壁で一ヶ所電光形の細道が海岸に沿ってのを見え、おそろおそろ水辺に連すれば累々たる大岩石が海中遠かに屹立し、白浪岩を眺み雄大な景正に言語に絶するばかりである。苦心の末、巖頭に立ち、遙かに黒潮海流を睥睨して、魚想の境地に遊ぶ。天びすを返えして燈台に向う。四百米星の所から真紅の花美しい椿の林の中のアスファルト道路を進む。ツシクグセンター銘鶏館を視察後燈台の門をくぐる。掲示板には「慶応二年英仏蘭米の四ヶ国と締結した江戸條約により設置することとなり、慶応三年六月一日飯灯台を点燈し、明治二年九月十日木造燈台設置、明治十一年四月十五日現在の石造燈台に改築した。位置北緯三十三度二十六分八三秒、東経一三五度四十五分三十六秒、白色円形石造、白先毎十五秒、一閃、先光度八〇万カンデラ（二〇〇万烛光）、光達巨離一九五哩（三十大料）燈の高さ基礎から一九四六米平均、水位から五〇九六米等々と記してあった。燈台下の荒海に突出する茂多岩礁。同

に荒波をさけて、あちりの山崖にちちの岩の間に小舟がつかない。岩上には釣を樂しむ多くの人を見た。岩の外部には白浪砕け内部は極めて静かである。

夜將に明けなるとする時、窓を開けば明月沖天にかけた。銀波を漂わし、岩礁黒く屹立し沖には無數のいさぎ火点滅し燈台の閃光青白く輝き神祕に包まれ美観である。神祕のとびり次第に開け鷗の姿の見えだした。大小の漁船陸続として港をこして真白い船体を運んでゆく。

芳香甘美な紀州密柑を口に明けゆく漂渺たる太平洋の海流を眺めると眺めながら我が身の幸福感に浸っている。昨日、北海の辺境に天下の奇勝を探り、今日は紀南の泉都に俗塵を洗い、今又南海の決に天下の大觀を賞す。我が身の幸福之れに過ざるものがある。二れはつゝえにバスターズの御陰、生長の家御陰、息手夫婦の御陰、思わす感涙汚泥たるものがある。

二月九日京都市に泊。朝七時半津山発の汽車にのってくる義弟の嫁を待ち合わす時間の都合で東西両本願寺に参拝、以て帰一する祈りをこめ十二時大乗殿屋に彼女と共に行き日本舞踊の時の意向書を物色した。此の問屋に勤務している彼女の弟の指圖に従い、冬物の入れ替へ時を見計って来たのであるが、これは美しいなあと思えば一着か五万円から十万円、第一本が三万円から五万円、二人を着物を上から下まで揃えたらいくらにならんのだらう。一方円以下の帯と着物と裏地のその他八枚ついで求めたが津山で買半額であった。大阪から津急みまを号に乗る帰着したのは午後九時であった。

(二月十七日 記)

茶人奇聞伝行

秋月と島井 富田勝南

と自前の弁舌でまくし立てる。秀吉は台子の棚より秋月から贈られた桐葉茶入を取って茶室の前に置き、

「いかに宗室、秋月が貴った茶入いやその方見覚えがある。秋月は「あつ」と驚き顔面蒼白となり、かたがたふるふるとした。

秀吉は秋月を尻目に「宗室、この桐葉茶が所望して中ず、何の故あつて秋月に売ったを、それが商人同志の義理とでも申すのか」

「おそれなが、この茶室桐葉茶入を人に売った覚えはございませぬ」

「しからは秋月その方はこの茶入をどうして入手致したを」

「へー、い」と秋月額より涙き出る汗を拭いてもあえず畳に頭を摺りつけた。

秀吉「宗室、売らぬとあればその方手元にある桐葉を持参せよ」

「殿下、私し奴が所蔵の桐葉は去ぬる火に焼失致しましてござる」

「何、焼失致したというか、こりや秋月その方贖物をもつてわしをたはか、わしと満面に朱を注ぎ秋月をばったと睨み捲えた、秋月は蒼白の面をあけて

「ほな阿呆な、沃して贖物やおまへん、ほんまの桐葉や、本物どす、宗室宗匠は人に見せ貰うたり安心いよ、判りまするかいに、生命はっかりはお助けの程を」

「なうは此の桐葉その方何処から手に入れたのじや」と言い詰りられて秋月蒼々平蜘蛛よ、いに、へいづくはって擇り出すよ、な泣き声で「宗匠はえ、堪忍や堪忍とつせ、わては力決して私懲からやあまへんで、殿下があんまり桐葉に執心してはりましたよ、ついで、いあんさんの」と云いかけた時、宗室は

「秋月さん、火事場で拾ったものと見え、それ、殿下に献上したとあらは魚罪、またそれなる桐葉は贖物ではない証、根ともなりません、この上げその桐葉、殿下が末長く御愛用願わしく存じます」

この二とあつて以来、秋月も人柄一変し、正直を以って大阪城にも出入を許された。秋月は人々に語って「京大阪界にはきよさん茶人はあますけど、島井宗室宗匠はほんまの人はおまへんな。天下の利又は人かて、たかか塚の魚屋の息子は、んやあまへんがいな。わてと同じ上方のあきんど、お偉や、それにくらべたら九州のあきんどは人、偉うおまん、わたいこんとこが遠い」と自分太鼓腹を叩くと、聞いて思せ、相変らず人々をとりかすような笑顔を振り舞っていたという。秋月種実の晩年は知らないが、宗室は元和元年八月二十四日歿、年七十七とあり、大正五年の秋大覺習の行軍のみぎり、從五位を退贈された。(了)

FOTO SHIMAMOTO

フォト島本



芸術味をほ人のりと、ただよせた美しい写真、必ず満足いたただける写真、

電話 63

1966 ano ABRIL 四月 14ストス測候表

フウ極表測候部

日	気温oc	湿計oc	湿度%	最高気温	最低気温	降雨量	風向	天候	雨量
1	24.0	22.0	81	28.0	21.0		S	①	4
2	26.0	23.0	73	29.0	22.0		SE	①	7
3	26.0	22.0	66	28.0	21.0		E	①	
4	25.0	22.0	73	28.0	21.0		SE	①	
5	24.0	21.0	72	28.0	20.0	12.5	S	①	8
6	22.0	20.0	80	29.0	14.0	2.5	SS	①	8
7	21.0	19.0	80	28.0	15.0		NN	①	7
8	22.0	19.0	71	29.0	16.0		NS	①	4
9	22.0	19.0	71	30.0	16.0		SE	①	2
10	22.0	18.0	63	30.0	15.0		E	①	
11	22.0	18.0	63	29.0	14.0		SS	①	
12	22.0	18.0	63	29.0	15.0		SS	①	
13	22.0	19.0	71	30.0	15.0		SS	①	
14	25.0	24.0	65	31.0	12.0		SS	①	
15	27.0	20.0	47	33.0	14.0		SE	①	
16	28.0	22.0	53	33.0	14.0		E	①	
17	28.0	22.0	53	33.0	17.0		NE	①	
18	27.0	20.0	47	32.0	17.0		E	①	
19	29.0	21.0	43	34.0	15.0		E	①	
20	25.0	20.0	58	34.0	16.0		E	①	4
21	26.0	20.0	52	33.0	15.0		E	①	
22	25.0	20.0	58	32.0	16.0		E	①	
23	26.0	21.0	58	31.0	17.0		E	①	
24	25.0	20.0	58	33.0	17.0		E	①	5
25	21.0	18.0	70	22.0	15.0	36.0	SW	①	10
26	19.0	18.0	89	26.0	14.0		WS	①	5
27	22.0	19.0	71	29.0	16.0		SE	①	7
28	24.0	21.0	72	30.0	15.0		E	①	
29	25.0	21.0	65	30.0	15.0		E	①	1
30	25.0	22.0	73	30.0	16.0		E	①	1
平均	24.2	20.2	65%	30.0	16.2	計 51.0			

まだ全快したわけではないから「予後」という字を用いるのは、当りぬかぬかぬが、大てい治あつては、思ふので、この辺で病氣と縁をきつてしまはうと思つたのである。

発病したのは三月廿五日夜十時頃で突然激痛が右半身を襲い、首と右腕がぶることもみてもういふほど痛くて、トトと痛てもらつた。爾後十日間は起されぬ痛で堪えかね、やむを得ず枕を三つ重ねて横臥しつゝおられた。注射毎日二本、腹薬朝昼晩、サツサと正月と一しよに朱たようになつた。斗病生活だつた。おまけに血圧が異常に高くて危険信号があつた。

この頃、食物は制限されるし、アルコル飲料は禁じられるし、病氣のアドバンスが大げさにさかえて、医師のアドバンスが第一塩ッ気のない食物など咽を通るわけはない。それでもかまへず食へておるが、定量の三分の一も食べられなかつた。その結果はツルのようになつてしま

にがごうり  
予後  
10  
糸音

つた。私はデブ礼賛の方で、マグロはいくらも食ふ方が身体のためにはいいです。と皆いつてくれるが、げそつとしたのはどうみても賛成できぬ。

やせはする程骨と筋肉が痛むのであつた。織田糸音遂に倒る。噂が噂が噂と各所から見舞の声がかつた。噂が噂が噂と、あいつが倒れたら、週報が出ぬようにならう。心で思つた。この頃、御世詞をあらわす。心で思つた。この頃、御世詞をあらわす。心で思つた。この頃、御世詞をあらわす。

病氣に負けてはならぬ。見ながしと、命を懸けて頑張つてはなう。命に任せて、命に任せて、命に任せて。

注射もさかぬ。内服薬も効かぬ。この頃、命を懸けて頑張つてはなう。命に任せて、命に任せて、命に任せて。

大変さかぬ。この頃、命を懸けて頑張つてはなう。命に任せて、命に任せて、命に任せて。

注射もさかぬ。内服薬も効かぬ。この頃、命を懸けて頑張つてはなう。命に任せて、命に任せて、命に任せて。

い日はシヤニムニ鉄筆をもつようになり、一日に  
 けたがまんになりなごなる迄、一日に  
 何回も筆をにぎった  
 うし今日で発病以來四十五日、あとも  
 う少して二ヶ月になる、こんな長く病氣  
 で休んだことは、前後におほえのないこ  
 とである  
 るして、今は病後の心の整理をしてい  
 のだが、神聖痛まがいの方はあと十日も  
 たでは一応治療の見通しはついたようだ  
 高血圧の方は、死ぬまでの事業として征  
 服してゆくつもりである  
 と二乃で病気をいして全快するか全快に  
 近づくと見舞いをいただいた方々に全快祝  
 を申返して好意を感謝する習慣があるが  
 私は全快を表明するのはまだ少し早いと  
 思うので、今回は中間報告をして御礼を  
 いわせて貰う気である、やがて元通りの  
 元気をとりもどすと思いが、ようやく此  
 処まで頑張ったことをおしらせしておき  
 たい

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 船辺 久雄 様     | ハルル 佐々木 古雪 様   |
| 小林 小久 様     | オズワルド 加藤 梅景 様  |
| 山中 三郎 様     | オフルス パイネラ 吟社 様 |
| 森下 正枝 様     | ハストス 南米 平鏡 守 様 |
| 橋元 正枝 様     | オニス ス文化 協会 様   |
| 黒川 仁恵 様     | さほさん 吟社 様      |
| 戸田 ツイ子 様    | 姉 教 婦 人 会 様    |
| 招川 キク子 様    | 聖市 山本 久 様      |
| 渡辺 シズ子 様    | 聖市 原口 久 様      |
| 原野 小冬 様     | パフルネンテ 草 様     |
| 大崎 マツ子 様    | 梅 津 愛 子 様      |
| 八重 櫻 辰見 様   | 海 野 幸 道 子 様    |
| 谷内 利男 様     | 小 林 平 行 様      |
| 山中 丈人 様     | 西 原 義 一 様      |
| 梶山 米子 様     | 河 戸 光 江 子 様    |
| 信太 茂 様      | 石 橋 とし 子 様     |
| 加藤 六太郎 様    | 本 田 正 雄 様      |
| 河山 義雄 様     | 山 根 三 郎 様      |
| 原野 辰美 様     | 竹 内 清 一 様      |
| 松本 春枝 様     | 西 村 和 丈 様      |
| 淡 照 代 様     | 宇佐 美 栄 一 様     |
| 宇佐 美 桂子 様   | ガラサイ 清水 一 郎 様  |
| パナマ 坂東 教二 様 | ベロオリゾナ 浦 恵 樹 様 |
| 聖市 植木 貞二 様  | ウジミマス 上田 幸 音 様 |
| 聖市 増田 秀一 様  | 聖市 富岡 静二 様     |
| 川辺 イサノ 様    | 松崎 貞 則 様       |

まだ控えられぬところもあるかも知れず、御覽を  
 お願ひする次第です。

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 上西 泰治 様   | 吉岡 興之 彦 様     |
| 吉浦 秀次 郎 様 | 吉沢 市次 郎 様     |
| 宮崎 将義 様   | 中原 貞 巳 様      |
|           | サハツニ 三宅 安太郎 様 |

# 学生アルバイトを求む

仕事は卵磨き やさしい仕事です

男女中学生(十二才以上十五才位まで)

○時間は一日で半日でもよろし

学生アルバイトで高級支払います

御申上は左記へ

シヤカラ 本田 養鶏場

Font. 80

## 教祖八十生祭の

天理市に集った日系

人の会話

(二月) 奈良県天理市は教祖八十生祭で  
 大賑ひ。 全国から集った信者は勿論、北  
 米、南米、ハワイ、カナダ、アフリカなどの外国  
 から来た人々の会話  
 「あなた、どこから、ですか」  
 「シカゴ、これ、みなシカゴ」  
 「まだほかにも、たくさんいるよ」  
 五人連の中年女性に同輩の女性が廣  
 間、いすれも顔はレツキとした日本人だ  
 が日本語がいくらかあやしい。  
 「わたし、日本初めてです。アメリカでボ  
 リンでした」  
 「わたしは毎年一度来てる」  
 「これ、会長さん、ウエストシカゴ教会の会長  
 さん」  
 「あんた初めて日本見て、どう感じた？」  
 「カンジタ？ オオわかりました。よて  
 もナイス。アメリカでいろいろテレビ見  
 て、来て見たい思ってたのでした」  
 「レ、かし、みなさんか心から歓迎してくだ  
 さるから、ありがたいたいさね」  
 「そう、う人と歓迎して下さるのわかり  
 ます」

「日本で困ったことない？」  
 「トイレット、ノード、カッド」 (皆笑う)  
 「遊覧バスでまわったときのことね」  
 「でも慣れました。馴れたらベリ、カスト」  
 「アメリカにあるものなんでもあるわ」  
 「それから、わたし、おミソ好きません」  
 「お魚食べるわね」  
 「イエ、エ、ズ、ベリ、カッド、日本の食べ物と  
 てもおいしいです。初めて日本料理おい  
 しいの、食べました」

「わたし、初めて日本へ来て東京のステ  
 ションに初めていって、みな日本人は  
 かりで、それだからアメリカで日本  
 人のキヤンパに、いきました。あの時のこ  
 と、思い出したの、ふだんはアメリカ人は  
 かりのオースに、働いて居りますから」

イルミネーションに輝く  
わがバストス

バストス銀座といわれるオニバス発着点、あすこがパツと昼のように明かるくなる計画がすすめられている。先ず第一着手として南銀支店が店の角にサーチライトより明るいイルミネーションをつけて、あの辺一体の夜を美しく飾ろうという。銀行は昼の仕事で夜は休むのだから、といひのは考えが古い。サウスイス精神やみがたく、こんど宮坂副頭取の発案で煌々たる電飾がお見得するこ

とになつた。さきごろから聖市バストス直通オニバスが始まり、ロードビマリオ長橋バールを起点とするのに、今までのままではいかに暗ぼつたて、景気がわるい、と長橋店長、これも大きな電飾看板を上げることになつた。バストス内だけの人は手ごりでもオニバス起点は判明せぬこと、もな、が、よせからのお客さん、時には四五の%はあつたので、その方面へは、バスもふくんでいゝといひ、これとさいた付近の店主たち、理解ある丹那方はかりだから黙つていゝわけがない。早速思ひ思いに電飾看板を上げることにになり、都会の仲間入りする空気に、みに濃厚となつた由である。田舎道と電灯の煌めく御時世である。バストス銀座のくわかつたことは何ともしても名譽とは去いがたい。か、とにかく皆ご人のお蔭で、明朗な電飾の中心地が近くお現するとはおめでたい。

仙人掌 五月作品

秋耕や遷層はまだ老なりお 宮武勝甫  
栗むいて 話は明治の住み時代  
栗落ちぬ休んで居り、大なる 柳屋すわ  
いが栗を 初めて見るや吟行地  
生栗と噛み噛み跳の戯組大将 佐藤木南太  
台湾の地図にも似たる大甘藷  
わが生の計算遠いふかし 藪 佐藤村雨  
鉤安に藪の喰いつく 藪と揺る  
日曜はパン焼かぬ日はバタタ燕、 榎山米子  
バタタ揺る女ばかりの日曜日  
いかに踏みし子を買い戻る栗拾い 織田米音  
栗はせて痛み忘れし肩のこり  
ここの主栗一生の長寿かな 青木桂子  
秋耕や嫁訃鐘の地に祝儀あり  
別れ来て手にあためし栗一つ 牛尾洋子  
栗一つ拾ひて 吾子と急ぐ路

帰朝御挨拶

此の度、和歌山県海外移住留守家族連合会ヲ代表シテ去ル二月十一日ぶらじる丸ヲ渡伯以來、三月月二旦リ各州ヲ視察、約一万五千キロノ行程ヲ自動車ノミテ突破シ果人ノ皆様ニオ目ニカカリ頗ル元氣ニ御活躍ノ有様ヲ拜見シテ誠ニ心強ク感シマシタ、特ニ私ノ第二ノ故郷テアル御地バストスへ参リマシテ皆様ノ根強イ発展振リニ接シ、又々營々外アリマセンテシタ。縣人会並ニバストス草分會ノ皆様ニハ心カラナル御手厚ク御接待ヲ賜ワリ感懐無量誠ニ有難ウゴザイマシタ。御陰様テ予定ノ行動十二分ニ遂行サセテイタダキ五月八日コンゴニア空港出發帰国ノ途ニ着キマス。終リニ皆様ノ益々御壯健ニラバストスノ為メ否祖国日本ノ名ニ於テ伯田ノ為メ御活動アラントオ祈リ申上ケマシテ、オ別レノ言葉ト致シマス。有難ウゴザイマシタ。  
一九六六年五月七日 G-1区ニテ  
又桑原 竹次郎  
聖島有田系我田中番一〇三四  
各位

畑中翁胸像完成

かねて出聖中だったバストス日伯文協会前山、本田正副会長は畑中翁胸像製作の件に聖市バストス人会へ募金委員会製作してもらうなど活躍中の処、胸像製作者伊藤氏のアトリエをのぞいて、とえな出来具合を見せてもらったところ、もはや完成して居ったので吃驚仰天、さっそく製作費を渡して現品受取り五月七日バストスへ戻つて来た。まあ何とよく似つていゝものだらう。ほんものぞつくりだよ、皆みせてくれ、というが、いじが悪い様なが蔵秘だ、除着式までこの感懐をとおしておきたい。あと二ヶ月のしんぼうだ、近い内台を作つてもらい、入植祭の時除幕をするのだ。芝派なむのだよ、それはそうと、募金の方もしつかりたのむよし、とは抜け目のないこと。

Casas Pernambucanas Filial Bastos

Aviso de Cine-Bastos

冬の仕度  
 コベルトリル フランネル  
 ラン テルガール  
 リンニヨ  
 ガゼミトラ  
 コルシヤ



カーザス ペルナンブカーナス  
 バストス支店  
 南米最大組織の店ならはこそ  
 絶対安価提供  
 半値同様の掘出し物  
 たくさん たくさん  
 ストッキ ミエーユ  
 その他店内

五月十一日(火) 十二日(水) 両夜とも八時  
 日活「二本立て」 夜の鷹 浅丘ルリ子 二谷英明  
 コロド 夜鷹 高橋英樹 和泉雅子 リーブレ  
 五月十三日(金) 八時 十四日(土) 九時  
 東映 日本依客伝浪花篇 鶴田浩二 高倉健 南田洋子 十四才  
 コロド 村田英雄 大友柳太郎 八十草薫 以上  
 五月十六日(日) 九時 十七日(月) 八時  
 松竹 日本の飛躍 国政れて山河あり 日本のフェニックス 不死鳥  
 五月十八日(水) 東映 天竺色 鮫 中村錦之助 夜八時  
 五月十七日(火) 十九日(木) 両夜とも八時  
 東宝 ホノルル・東京・香港 宝田明 加山雄二 リーブレ  
 コロド 夢のダイヤモンドライン ハワイ 香港 長瀬大ロケで描く 娯楽大作品 真珠の恋  
 五月二十日(金) 八時 二十一日(土) A Juventude e a Noiva  
 松竹 我が青春 西郷輝彦 夏木子 リーブレ  
 三上英一郎 五月すべり  
 五月廿二日(月) 廿三日(月) Perseguido pela injustica 歌とナクシヨの青春大作  
 西郷輝彦のすべりの穂カと結果 歌とナクシヨの青春大作  
 東映 逃亡 佐々木良子 江原真一郎 東野 十四才以上  
 加藤 剛 千原真一 西村